

1 英語科で目指す生徒の姿

関わる相手の立場や考え方に配慮して、情報を整理しながら

考えを形成し、再構築して、それを基に自分の考えを伝えようとする姿

2 英語科の研究テーマ

目的、場面、状況等に応じて、聞いたり読んだりしたことを基に

自分の考えを伝える力を高める学習の在り方

3 研究テーマの具現に向けて

単元「Wheelchair Basketball」(令和6年12月・1年)では、Lesson Goal(以下:「LG」と表記)を「沖縄の中学生に向けて、『長野に行きたい!』と思ってもらえるように長野の魅力について紹介しよう」とし、琉球大学教育学部附属中学校の生徒(以下:「琉中生」と表記)と、長野と沖縄の見どころを紹介し合った後、即興で伝え合う学習を構想した。そこでは、計3回の琉中生とのオンライン交流会に向けて、教科書から得た視点を基に繰り返し友とやり取りする活動を位置付けた。Y生は、教科書の内容から「ちがいがい」や「気持ち」という視点に着目し、事実に対して、楽しいや面白いなど、自分の気持ちを関連させることで会話を継続、発展させたり、自分の考えを詳細に伝えたりすることができると気付いた。そして、琉中生との3回目のオンライン交流会では、信州そばについて、「*Okinawa soba is hot and it is like udon, right? But Shinshu soba is usually cold, it is like somen. Do you eat cold soba? We can choose cold or hot. I like cold soba. It is delicious.*」と長野の食文化を紹介し、ペアの琉中生から「*I want to eat it. Where is a good restaurant?*」と続くやり取りをすることができた。このようなY生の姿を、英語科の研究テーマを具現した姿と捉えた。

そこで、単元「Friends from Singapore」(2年)において、LGを「附中を訪れる台湾の中学生と附中でできる文化交流活動を決め出そう」とし、事実や考え、気持ちなどを友やALT、教師と伝え合う学習を構想する。そこでは、教科書から得られた視点から自分の考えをメモにまとめた後、ルーミン中学校からの評価を基に、自分の考えをメモに整理し直し、メモを基に、友やALT、教師と繰り返しやり取りする活動を位置付ける。第1時、教師は、LGを生徒とともに設定した後、教科書の姉妹校へのアンケート結果の紹介や折り紙体験をしている場面の会話を聞いたり、読んだりする場面を設ける。生徒は、「*Many students chose origami and shodo, but origami was more popular than shodo.*」や「*Tea ceremony is the most popular answer, but only a few of us can do it.*」という情報から「相手の願い」や「一緒にできること」などの視点を獲得し、自分の考えをメモにまとめて、附中でできる文化交流活動を構想し、友とやり取りするだろう(図1)。その後、教師は、以前に交流経験がある台湾のルーミン中学校からの自分たちの提案に対する評価を全体に紹介し、自分の考えを整理し直す場面を設ける。生徒は、ルーミン中学校からの評価を基に、メモを加除修正し、自分の考えを再構築していくだろう(図1①)。そして、生徒は、LGに向けて、提案を決め出す際には、決め手の必要性を感じて、自分の考えを伝えたり、友やALT、教師からの質問に答えたりしながら、附中でできる文化体験活動をグループ、学級全体で決め出すことができるだろう。

以上のような学習を積み重ねていくことで、英語科の研究テーマを具現し、目指す生徒の姿に迫ることができると考えた。



図1 予想される生徒のメモ(例)

4 単元名・学年

「Friends from Singapore」・2年

5 単元の目標 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

訪日教育旅行で附中を訪れる台湾の中学生との文化交流活動を決め出すために、自分のおすすめる文化交流活動について、事実や考え、気持ちなどを友やALT、教師と伝え合うことができる。 【話すこと〔やり取り イ〕】

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 形容詞、副詞を用いた比較表現の特徴やきまりを理解している。 技 附中を訪れる台湾の中学生におすすめる文化交流活動について、事実や考え、気持ちなどを友と伝え合うために比較表現などを用いてやり取りする技能を身に付けている。	思 附中を訪れる台湾の中学生と行う文化交流活動を決め出すために、自分のおすすめる文化体験活動について、事実や考え、気持ちなどを友やALT、教師と伝え合っている。	態 附中を訪れる台湾の中学生と行う文化交流活動を決め出すために、自分のおすすめる文化体験活動について、事実や考え、気持ちなどを友やALT、教師と伝え合おうとしている。

7 目的や場面、状況等に応じて、事実や考え、気持ちなどを伝え合う力を高めるための単元の手立て

- 教科書から得られる「相手の願い」や「一緒にできること」などの視点から自分の考えをメモにまとめた後、ルーミン中学校からの評価を基に、自分の考えをメモに整理し直し、メモを基に、友やALT、教師と繰り返しやり取りする活動を位置付ける。

8 単元終末の文化体験活動を決め出す生徒のやり取り（例）

A生1：	Now, we have 2 choices. I think <i>kamizumo</i> is the best because it will become a souvenir. They can enjoy it in Taiwan too after exchange. Bさん said, "origami is same", but we don't know how to make special things.
B生2：	I think origami is the best. If we teach how to make paper cranes, they can enjoy origami in Taiwan, right? I think "easy things" is important because they can enjoy more easily. We don't have to make special one.
C生3：	I think both activities have same good points "easy to do" and "can enjoy together". However, <i>kamizumo</i> is easier to enjoy together because we just tap the desks. Also they hope "enjoy talking." When we play its games, we can talk a lot with easy English. So, I agree with Aさん.
B生4：	Umm...I got a nice idea. Making <i>kamizumo</i> wrestlers with origami. Then, we can teach origami and enjoy <i>kamizumo</i> together.
A生5：	That's nice. We can do <i>kamizumo</i> with origami. That's a cool idea. And we can tell them that origami has many colors and patterns. They will enjoy Japanese culture and cultural activity.
C生6：	So now, we decided one activity for students from Taiwan. Combining ideas is nice. I want to enjoy <i>kamizumo</i> with them. Let's think about "how will we teach them <i>kamizumo</i> ?"

9 単元展開 事実や考え、気持ちなどを友やALT、教師と伝え合う学習

本校英語科では、年度当初に、各学年の担当者を決めている。各担当者は、生徒の実態を基に、自作した年間の指導計画や教科書の指導計画、学習指導要領等を参考にして「Lesson Plan」として単元を構想し、教科内で共有している。単元の目標（LG）や生徒と共有する Can-Do-List はどの教科担当も統一して授業を進めている。そのため、学習進度のみならず、生徒の考えや学びの共有も行うことができる。



教員間で共有している Lesson Plan

9 本時案

(1) 単元名・学年 「Friends from Singapore」・2年

(2) 主眼 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

附中でできる文化交流活動を決め出すやり取りをする場面で、3人グループで1回目のやり取りをして、提案内容と決め手を関わらせていたグループのやり取りを内容面と言語面から振り返った後、自分の考えをメモに整理し、メモを基に2回目のやり取りをすることを通して、決め手を明確にして、簡単な語句や文を用いて、互いの考えを伝え合うことができる。 【話すこと[やり取りイ]】

(3) Lesson Goal : 附中を訪れる台湾の中学生と附中でできる文化交流活動を決め出そう。

(4) 本時の位置 (全11時間中 第8時)

前時：ルーミン中学校からの評価を内容面から振り返り、自分の考えを再構築し、メモにまとめた。

次時：学級で提案を一つに決め出すやり取りを行い、文化交流活動の提案内容を練り上げる。

(5) 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 本時の学習の見通しをもつ。	ア 教科書で得た視点に加えてルーミン中の評価にあった「会話を楽しめる」も含んだ提案にすることが大切になると思う。 イ 「会話も楽しめる」などの視点から互いの提案を伝え合い、LGを意識して、提案の理由を比較しながらやり取りしていくことで決め出せそう。	・LGに向けて、どのような視点が大切になるかについて全体でやり取りする。 ・どのようにやり取りをしたら提案を決め出せそうか尋ね、イのような反応から Today's Goalを設定する。	8分
【Today's Goal】: Let's discuss the cultural activity for students from Taiwan				
展開	2 3人グループで1回目のやり取りをして、提案内容と決め手を関わらせていたグループのやり取りを内容面と言語面から振り返った後、自分の考えをメモに整理する。	予想される生徒のやり取り (一部) ウ: I suggest "Playing kamizumo together". The game is a traditional Japanese culture and enjoy together. A: That's nice. But can you talk when we play it? It is difficult, right? I think my idea, "Binzuru Dance" is easier to do and talk with them. B: I see. Do you think talking with them is the most important?	・3人グループで、互いの提案を伝え合い、グループで一つの提案を決め出すよう促す。 ・やり取りが続かないグループには、伝えたい表現をともに考えたり、提案理由を比較して、台湾の生徒が願う活動になっているか質問したりする。 ・やり取りに参加しながら共感を示したり、疑問に思うことを尋ねたりする。 ・提案内容と決め手を関わらせていたグループのやり取りを全体で共有する。 ・決め手を基に提案内容を比較することで一つに決め出しやすいことを全体で確認する。 ・確認したことを基に、自分の考えをメモに整理するよう促す。	25分
	3 メモを基に2回目のやり取りをする。	予想される生徒のやり取り (一部) A: I think talking with them is the most important. And Taiwanese students like Japanese culture, so Binzuru Dance is the best activity. カ: But kamizumo is a simple game. we can talk about the games a lot. Also, they can bring back them home. It will become souvenir. What do you think? A: Dancing together will not be a souvenir but be a good memory for them. B: I think getting souvenir is important.	・3人グループで、整理したメモを基に、1回目の続きからやり取りをするよう促す。 ・やり取りが続かないグループには、何が決め手になりそうか尋ねたり、その決め手に対して互いの提案内容を確認したりする支援を行う。 決め手を明確にして、簡単な語句や文を用いて、自分の考えを伝え合っている。 (観察・録画した動画)	12分
終末	4 本時の学習を振り返る。	キ 【内】紙相撲という提案に対して、「お土産になる」という決め手でやり取りすることができた。一つに決め出せなかったので、「話を楽しめる」ということについてもやり取りをして、台湾の生徒の思いに寄り添って提案を練り上げていきたい。	・Today's Goal について内容面と言語面から振り返るよう促す。 ・キのような記述をしている生徒の考えを全体に紹介し、次時の学習の見通しについて全体で確認する。	5分